

スーパービジョン体験談2025 大淵敬司さんの場合

スーパービジョン（以下、SVと表記する場合あり）ってなに？と思われる方も多いことと思います。

そんなわけで、スーパービジョンを受けた会員さんに、生涯研修センターが突撃インタビュー。
スーパービジョンを受けた会員の声をお聴きください。

そして「いいじゃん！」と思われたら、是非スーパービジョンの活用をご検討ください。

(参考)スーパービジョンとは - 認定社会福祉士・認定認証機構 日本社会福祉士会

https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/supervision/sv_jisshi.html



スーパービジョンを受けてみようと思ったきっかけはなんですか



社会福祉士会の基礎研修Ⅲまで修了した後も、実践を振り返りながら自分自身を見つめ直す機会が欲しいと感じていました。日々の業務ではケースの難しさや支援の方向性に悩むことも多く、誰かと安心して語り合える場が必要だと思っていました。そんな中でスーパービジョン助成制度を知り、対話を通じて自己研鑽を深める機会として、ぜひ受けたいと思うようになりました。

スーパービジョンを受けてどのようにかわりましたか



2020～2021年、2022～2023年にかけて、同じスーパーバイザーの方から計12回のスーパービジョンを受けました。毎回お互いの予定を調整しながら、安心して自分の思いや葛藤を言葉にする時間を持つことができました。MSW時代の経験や、現在の介護タクシー事業に至るお話を伺う中で、「支援に正解はない」という自分の考えを改めて確認できました。転職を決断する際にも、その対話が大きな後押しとなりました。



これからスーパービジョンを受ける人にメッセージをお願いします



スーパービジョンは、正解を教えてもらう場ではなく、自分の支援や向き合い方を整理し、新たな視点を得る貴重な機会です。自分の中にある思いや迷いを言葉にすることで、自信や前進する力が湧いてくることもあります。立ち止まっている今だからこそ、新しい一歩を踏み出すチャンスになるかもしれません。専門職としての成長を望むすべての方に、ぜひ体験していただきたいです。

